



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第292号

2016年11月7日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

物価高でも賃金上がらなければ年金減額に

年金改定ルールを大改悪する「年金カット」法案（国民年金等改定案）が、衆議院で審議入りしました。「年金カット」法案は、物価が上がっても賃金が下がれば年金を削減するというものです。

現行の厚生年金、国民年金は、物価が上がり賃金が下がった場合、年金額は据え置かれています。しかし、「年金カット」法案では、賃金に合わせて給付が切り下げられます。

また、物価がマイナス1%、賃金がマイナス2%下がった場合、現行は物価に合わせて年金は1%の引き下げです。しかし、改定案はより低い賃金に合わせて年金は2%引き下げられます。

今回の改定案は、ひたすら低い方に合わせて年金を抑え込むものです。



年金抑制を途切れなく実施する仕組みが

法案にはもう一つの改悪があります。年金には物価や賃金が上がっても、年金の伸びを抑える「マクロ経済スライド」という仕組みがあります。ただし、高齢者の生活への影響を考慮しマイナス改定はしないルールになっており、これまで実施できたのは一度だけです。

法案はマイナス改定ができなかった分を、翌年度以降に持ち越し、物価や賃金が上がったとき、まとめて実施できるようにしています。この仕組みにより物価や賃金が上がったとき、未実施のマイナス調整分を実施するために、年金が上がらなくなります。安倍政権は2019年10月に消費税率を10%に引き上げる計画です。増税による物価上昇は反映されなくなるうえに、増税による実質賃金の低下でさらに年金が下がり、消費税増税と年金削減のダブルパンチで年金生活者は大打撃を受けます。

「年金カット」法案を力合わせ廃案に

今回の改定は、年金を支えに生活する高齢者に大きな打撃を与えるだけでなく、若いときに低賃金に苦しんだ世代が、高齢になったとき大幅に引き下げられた年金しか受け取れなくなります。法案は、年金世代だけでなく、現役世代への攻撃でもあります。

日本共産党は9月市議会に、10兆円の運用損を出した公的年金積立金の投機的運用をやめることを求めた意見書を提出しました。日本共産党、みんなの広場、三田議員の7名が賛成しましたが、保守・公明などの反対で否決されました。

日本共産党は市民のみなさんと力を合わせ「年金カット」法案を廃案に追い込むために全力でがんばります。